

「私の近況報告」

中部徳洲会病院 外科 手登根 勇 人 (23期生)



みなさん、はじめまして。琉球大学医学部23期生の手登根勇人といいます。現在、中部徳洲会病院で外科をしている卒後3年目のぴちぴちです。

はじめに原稿依頼を受けたにも関わらず期日を過ぎてしまいご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。現在当直中ですが、慌てて原稿を書き上げているところです。

まずは自己紹介がてら軽く経歴から簡単に述べたいと思います。私は浦添出身で、浦添高校卒業、3年間の浪人生活を経て2003年に琉球大学医学部に入学しました。学生時代はウインドサーフィンとバイトばかりに明け暮れ、充実した毎日を送りました。気づくとあっという間に6年間経ってしまい、国試もあっという間に終わり気づけば医師になっていました。医師になって

つらかったのは学生時代とのギャップでした。私は、初期研修を中部徳洲会病院という野戦病院のようなところで行い、当直は月10回以上は当たり前でひどいときには15回とかやっていました。もちろん、当直明けは休みとかそんなわけはありません。あまりのつらさに1ヶ月で体重が8kgも減少してしまいました。しかし、どうにかこうにか必死に2年間やってみると気づくとある程度のことは一通り出来るようになっていました。そこでふと思ったのはこのように成長できたのは自分のおかげではなく周りのスタッフや上級医のおかげということ、そして感謝の気持ちでいっぱいになりました。私は将来小児外科医になりたいと考えているので、まずは大人の外科をたくさん行える職場をと思い、中部徳洲会病院に外科として残ることになりました。予想通り忙しい病院ですが、手術もたくさんさせてもらい毎日充実した生活を送っています。

ん？緊急オペの予感がする。。では以上で私の近況報告とさせていただきます。最後まで読んで頂きありがとうございます。初期研修から後期研修がどのようなものか少しでも感じてもらえれば光栄です。

